

乗務員教育年間計画

令和5年度

運転士

関東自動車株式会社

一般的な指導及び監督の内容	入社時		集団講習
	本社	営業所	
1 バスを運転する心構え			
① バス事業の公共性と重要性	○		12月
② バス事故の社会的影響	○		12月
③ 安全運行の心構え	○		12月
④ 事故・災害を想定した教育訓練	○		12月
2 バスの運行の安全、乗客安全を確保するために遵守すること			
① バス運行に係る法令	○		4月
② 義務を果たさない場合の影響の把握	○		4月
※ 春の全国交通安全運動		○	
3 バスの構造上の特性			
① バスの特性に合わせた運転	○		8月
車高の高さに配慮した運転	○		8月
車長の長さに配慮した運転	○		8月
車幅の広さに配慮した運転	○		8月
死角の大きさに配慮した運転	○		8月
スピードの特性に配慮した運転	○		8月
② 多様化する車両に合わせた運転	○		8月
4 乗車中の乗客の安全を確保するために留意する事項			
① 「急」の付く運転はしない	○		8月
② カーブ・追越しはゆっくりと	○		8月
③ 安全な速度と十分な車間距離を保つ	○		8月
④ 乗客の状況を確認する	○		8月
⑤ シートベルト着用の徹底を図る	○		8月
⑥ 走行中の運転への集中	○		8月
※ 年末年始輸送の安全週間			
5 乗客が乗降するときの安全を確保するために留意する事項			
① 乗降時の乗客の安全確保	○		3月
② 高齢者・障害者などの乗降時の安全の確保	○		3月
6 運行路線・経路における道路及び交通の状況			
① 運行路線・経路における道路・交通情報の把握		○	3月
② 情報に基づく安全運行の為の留意点		○	3月
7 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法			
① 危険予測運転の必要性	○		3月
② 危険予測のポイント	○		3月
③ 危険予知訓練	○		3月
④ 指差呼称及び安全呼称	○		3月
⑤ 緊急時における適切な対応	○		3月
8 運転者の運転適性に応じた安全運転			
① 適性診断の必要性		○	8月
② 適性診断結果の活用方法		○	8月
9 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対応			
① 交通事故の生理的・心理的要因	○		12月
② 過労運転防止のための留意点	○		12月
③ 飲酒運転防止のための留意点	○		12月
④ ヒューマンエラーを防ぐために	○		12月
※ 秋の全国交通安全運動		○	
10 健康管理の重要性			
① 健康起因の事故と健康管理の必要性	○		8月(生活習慣病)
② 健康管理のポイント	○		8月(薬の服用・SAS)
			8月(健康管理のポイント)
11 安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法			
① 運転支援装置に係る事故の事例	○		4月
② 運転支援装置の性能及び留意点	○		4月
③ ドライブレコーダー取得映像を活用した研修	○		4月

その他

事故惹起者、苦情を受けた者、アルコール検知異常者に対し、特別教育を実施。

添乗員

研修内容	入社時		集団講習
	本社	営業所	
1 バック誘導		○	8月、3月
			8月実技講習
2 車内事故防止		○	8月、3月
3 緊急時の対応		○	8月、3月
4 健康管理		○	8月、3月

営業所事務員

運行管理者選任者

整備管理者選任者

2年に一度、一般講習受講

2年に一度、講習受講